

**\*天文機器資料館に「一戸直蔵コーナー」できる**

一戸直蔵については、今まで何回も記事にした。ことの始まりは「談天の会」で佐久間精一氏から「一戸直蔵の資料」を保管しているが、どこかしかるべき所で収蔵してほしいという発言があり、筆者が国立天文台天文情報センターにアーカイブ室を立ち上げていたこともあり、すぐに手を上げ、「国立天文台アーカイブ室で収蔵させていただきたい」と申し出て、資料一切を譲っていただいた。そして、その頃から国立天文台博物館構想をもっていた筆者は、いずれはその博物館の一角に「一戸直蔵コーナー」を設置しようと考えていた。その後、故富田弘一郎夫人の富田智子氏から川崎青少年科学館へ寄贈された「一戸直蔵の変光星観測野帳」が同館からアーカイブ室に譲渡され、アーカイブ室には佐久間精一氏からの「一戸直蔵資料」と川崎青少年科学館からの「一戸直蔵の変光星観測野帳」が収蔵されていた。これらについて、以下のアーカイブ室新聞に記事が掲載されている。

- ・第15号 一戸直蔵の資料が入手できる！(2008年6月3日)、
- ・第31号 一戸直蔵資料目録入手(2008年6月26日)
- ・第35号 一戸直蔵資料届く(2008年7月1日)、
- ・第37号 一戸直蔵著書「趣味乃天文」(その1)(2008年7月2日)、
- ・第46号 一戸直蔵による新高山観測所の計画(2008年7月24日)、
- ・第60号 一戸直蔵の直筆原稿のデジタルアーカイブ(その1)(2008年9月10日)、
- ・第61号 一戸直蔵の直筆英文原稿のデジタルアーカイブ(その2)、完了(2008年9月12日)、
- ・第273号 一戸直蔵の変光星の観測野帳の譲渡(2010年1月7日受入れ)(2010年1月15日)、
- ・第274号 一戸直蔵の観測野帳にあったハレー彗星のスケッチ(2010年1月19日)、
- ・第275号 一戸直蔵の変光星観測野帳 1910年8月11日、14日の記載(2010年1月19日)、

一戸直蔵は、日本で最初に変光星の観測をした人で、アメリカのヤーキス天文台で観測をしている。当時麻布にあった東京天文台は、街明かりを避けるためと本格的な観測装置の展開のため、空の暗い広い敷地を求め東京府北多摩郡三鷹村に広大な土地を購入し移転する計画があった。一戸直蔵はこの計画に異を唱え、三鷹村は東京近郊であるからいずれ、又街明かりにさらされることになるから、赤城山山頂への移転を主張した。これはアメリカでの観測経験が言わせたものと思われる。当時の東京天文台長は初代の寺尾寿であり、この移転を巡る台長との意見の対立から東京天文台を追われ、ジャーナリストとして生きていくことになったのである。天文学の啓蒙書を著わすと同時に「現代之科学」を創刊す

るなど活躍をしたが、過労のため42歳の若さで亡くなった伝説の偉人である。一戸直蔵については上記のアーカイブ室新聞を参考にされたい。氏は当時日本領であった台湾の新高山（玉山）に観測所設置を考え詳細な計画を立て、現地調査を行い絵図面さえ残している。また、直筆の英文の論文の原稿が多数残っており、これらを国立天文台天文機器資料館の「一戸直蔵コーナー」に展示した（写真1）。

国立天文台では天文博物館（仮称）構想を進めているが、本格的な博物館建設まで自動光電子午環棟を天文機器資料館としたプレ博物館として整備を進めている。2012年2月に天文機器資料館の展示を大改装した際、「一戸直蔵コーナー」を設置したのである。

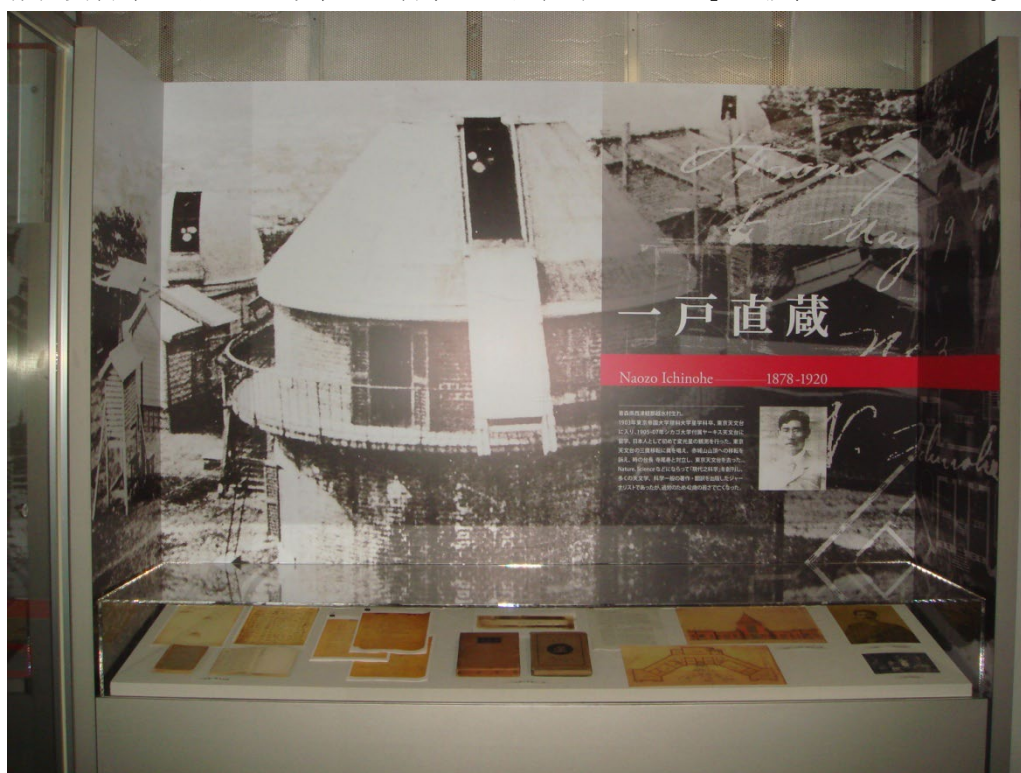


写真1 天文機器資料館の「一戸直蔵コーナー」

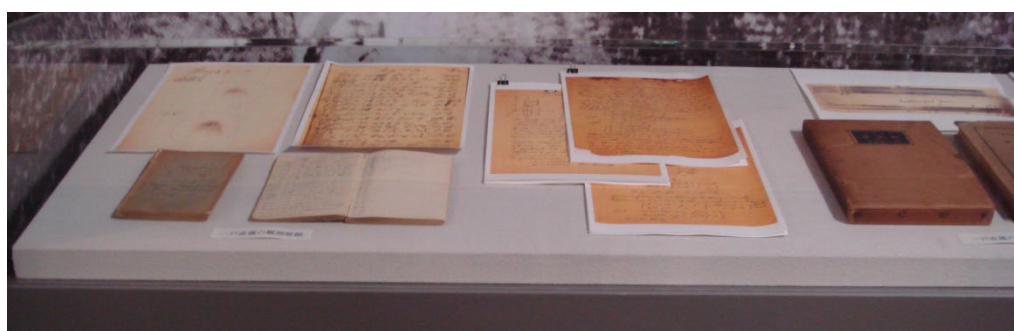


写真2 展示されている観測野帳、直筆英文論文原稿など

現在展示してあるものは、左から変光星の観測野帳2冊（閉じておいてあるもの1冊、ページを開いておいてあるもの1冊）、観測野帳の中の彗星のスケッチ、観測野帳の一ページの拡大コピー、直筆英文論文原稿3点、著書2冊、月のスペクトル写真1枚（以上写

真2)。

次に右に向かって新高山観測所計画、その絵図面（正面図、平面図）（写真3）、そして右端に青山学院大学所蔵の肖像写真、その下に家族写真（写真4）を配した。



写真3 2冊の著書と新高山観測所図面2枚

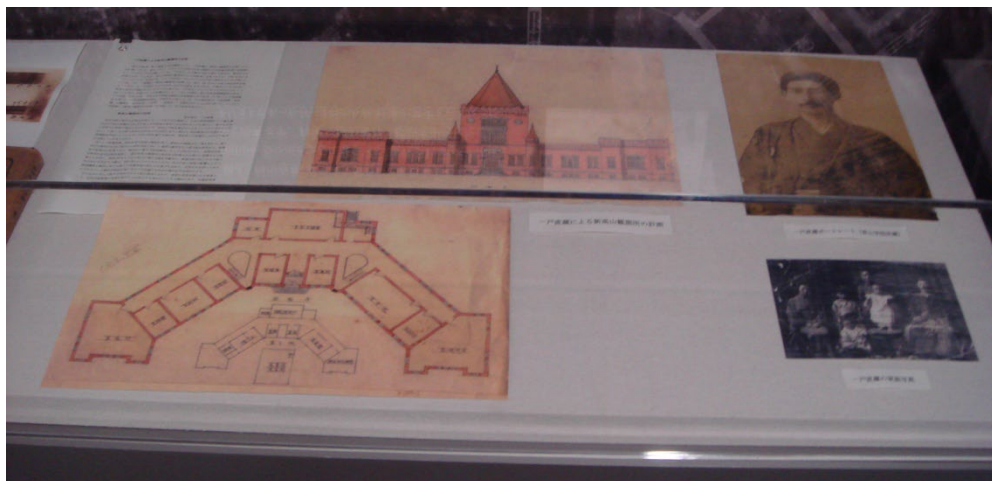


写真4 2枚の新高山観測所絵図面と肖像写真と家族写真

写真5は、新高山観測所の完成予想図の正面図である。平面図が写真6である。

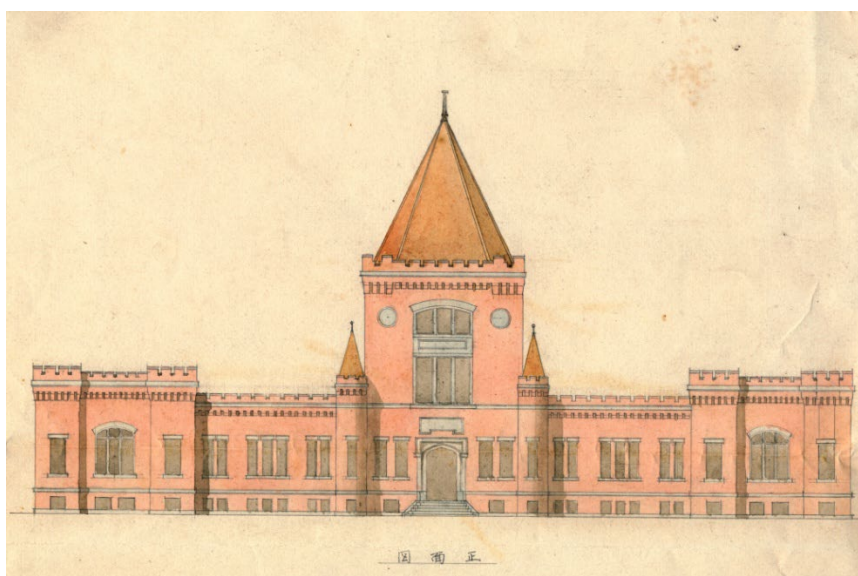


写真5 新高山観測所完成予想正面図

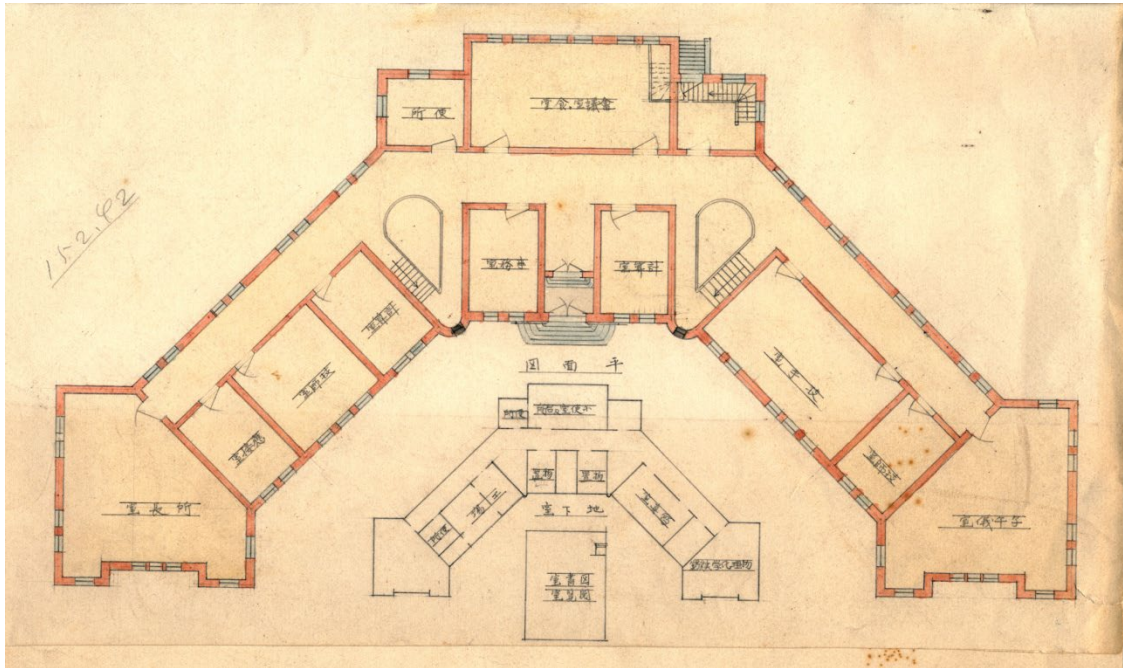


写真6 新高山観測所完成予想平面図

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)